

発見!

熊野町の「工」ところ。

シリーズ
第7回

全国各地にある名所や名物。もちろん熊野町にもたくさんあります。そんな町内に埋もれた、さまざまなモノ・場所などの「工」ところ」を紹介するコーナーです。今回は「城之堀地区」からのレポートです。

「楽しみなサクラ咲く〜♪」誠和園はサクラの名所



誠和園側から見たサクラ

今回は、「初春」ということで、熊野町は城之堀にある「サクラの名所」をご紹介します。

筆の里工房から北部農道を300mほど東に進むと、右手にデイサービスセンターや介護老人福祉施設などを構える「誠和園」があります。そして道路を挟んで左手の山裾には、たくさんのサクラの木が植わっています。

以前、「誠和園」でボランティアのお手伝いをしていた時に、ここでお花見をさせて頂いたことがありました。その時、どうしてこんなにたくさんサクラが植えてあるんだろ？一般の方も自由にお花見してもいいのかな？と感じたのを思い出しました。思い立ったが吉日、サクラ

のいわれを調べてみよう！と、さっそく「誠和園」を訪ねました。

お話を伺ったのは、誠和園施設長の村上広夫さん（54才）。現在、樹齢40年の最高齢の木から昨年植えられたものまで、なんと1300本以上のソメイヨシノがあるそうです。このサクラたちは、園の創設者である村上さんのお父さんが熊野町に来て、施設を建てた時、「地域に溶け込んでいけるように、ここをサクラの名所にしたい。そして、熊野町のみならずが気軽に誠和園を訪れてくださいますように」という願いを込めて昭和40年に植えられたのがはじまりだそうです。昭和57年には、さらに100本のソメイヨシノを植樹。その後、村上さんがご結婚された際の記念として奥様への思いを込めて76本のソメイヨシノを植えられるそうです。お話を伺っていると、こんなにも思いのこもったサクラたちだったのかと、胸が熱くなりました。

「このサクラの満開は例年4月10〜15日です。施設の方にも、また町民の方にも、来てもらえればサクラも喜びます。どうぞみなさんの憩いの場として見に来てください。」とおっしゃる村上さん。お父さんの「さくらの名所にしたい」という思いをしっかりと受け継いでらっしゃるように感じました。

とはいえ私有地ですから、お花見



園のみなさんも屋上からサクラを楽しむ…

される方は、園の事務室にひとこと声をかける配慮も必要ですね。サクラを折らないように、そっとお花見させていたたくのはもちろんですが、周囲を汚さないようにせめて来た時よりもきれいに帰りたいものです。そうそう、北部農道は農道ですから歩道がありません。歩かれる際は、道中、車にはくれぐれも気を付けて。

まだまだ自然の魅力いっぱい熊野町。近年、以前にも増して、あちこちでサクラをはじめ自然が話題になる機会が増えたような気がします。自然は不思議と人間を癒してくれる空気があります。寒い日の取材でしたが、今からつぼみをつける木を見上げながら、楽しみなサクラ咲く〜♪と思っ心も暖かくなりました。

記者 伊藤真由美